



2025年7月16日

各位

会社名株式会社 J S H  
代表者名 代表取締役会長兼社長 野口 和輝  
(コード番号: 150A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役経営管理グループ本部長 市川 伸二  
(TEL 03-3272-0606)

### 第10期連結業績予想修正と中期事業ターゲット策定に関するお知らせ

2025年5月14日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正し、また中期事業ターゲット（2026年3月期～2028年3月期）を策定しましたので、お知らせいたします。

#### 記

1. 予算の修正について  
2026年3月期予算の修正  
(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
予算 (A) <b>開示済み</b> (2025年3月決議 予算)	百万円 4,915	百万円 98	百万円 88	百万円 20	円 3.58
実績見込 (B)	4,927	-129	-138	-194	-34.33
増減額 (B-A)	12	-227	-226	-214	-37.91
増減率 (%)	3%	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	3,967	176	185	144	25.67

	地方創生 農園数	地方創生 農園区画数	在宅医療 拠点数	在宅医療 常勤数
予算 (A)	25	2,098	30	136.7
修正予算 (B)	27	2,272	47	165.1
増減額 (B-A)	2	174	17	28.4
増減率 (%)	8	8.3	56.7	20.8

#### 2. 予算の修正の理由

東京証券取引所は、2025年4月22日の有識者会議でグロース市場上場5年経過後、時価総額100億円に達しない企業は上場廃止もしくは市場区分変更の対象とする上場維持基準の見直し案を定めました（パブリックコメントを経て最終決定の予定）。当社の時価総額が20億円台を推移している中、短期的な利益ではなく、成長速度を高め、長期的なキャッシュ・フローの最大化を企図した経営に舵を切るべきであるという意見で一致いたしました。そこで、地方創生事業、在宅医療事業に

おける出店、採用を積極化し、中期事業計画1年目（FY25:2026年3月期）と2年目（FY26:2027年3月期）の利益を下振れさせても3年目（FY27:2028年3月期）の利益を最大化するという方針に変更いたしました。当社の方針をご理解いただくため、今般、初めて3か年の中期事業ターゲットを開示いたします。

### 3. 中期事業ターゲットについて

2027年3月期ターゲット（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高
ターゲット	60-65 億円

	地方創生 農園数	地方創生 農園区画数	在宅医療 拠点数	在宅医療 常勤数
ターゲット	32	2,632	51	188.3

2028年3月期ターゲット（2027年4月1日～2028年3月31日）

	売上高	営業利益率
ターゲット	80-85 億円	10%程度

	地方創生 農園数	地方創生 農園区画数	在宅医療 拠点数	在宅医療 常勤数
ターゲット	38	3,064	51	209.8